

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
法学 Jurisprudence		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(公務員試験、国際関係学部編入)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
日本国憲法				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
川副令	講義棟2階	初回授業で発表する		授業中に指示します
授業の概要				
現代社会で生じる具体的な問題を通じて、法と裁判の働きについて学ぶ。受講生は現代日本の法と裁判の特徴、その前提たる日本社会の特徴について、西洋近代法の継受、裁判員制度と陪審制度の異同、「家」制度の解体／残存等の観点から説明できるようにする。				
授業の目標				
(1) 医療裁判の事案を手掛かりとして、民事裁判と刑事裁判の違いなど、法と裁判の基礎について説明できるようにする。 (2) 陪審制と裁判員制度の異同を手掛かりに、現代日本の刑事手続の特徴について説明できるようにする。(3) 戦前の「家」制度、さらに遡って江戸時代の「裁判」制度の概要を紹介し、それらとの差異によって現代日本法及び日本社会の特徴を説明できるようにする。				
授業の方法				
裁判についてのイメージを膨らませるため、映像資料を活用する。また、受講生が自ら考えるよう誘導するため、質疑応答を多く取り入れる。				
学習の成果（学習成果）				
(1) 民事裁判と刑事裁判の違いなど、法と裁判の基礎について説明できる。(2) 現代日本の刑事手続の特徴について説明できるようにする。(3) 「家」制度の解体／残存等の観点から現代日本法及び日本社会の特徴を説明できるようにする。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス			
第2回目	『白い巨塔』と大野病院裁判：法と正義、裁判と真実			
第3回目	医療訴訟の周辺：民法と刑法、民事裁判と刑事裁判、契約責任と不法行為責任、業務上過失致死			
第4回目	映像資料『白い巨塔』 レポート課題発表			
第5回目	映像資料及びレポート課題に関するディスカッション			
第6回目	日本法の歴史（概論）：律令法と公家法、武家法と本所法、幕藩体制と公事方御定書、明治維新と西洋近代法継受			

第7回目	刑事手続きの流れ、弁護人	
第8回目	犯罪と刑罰、軽犯罪法、社会奉仕刑	
第9回目	裁判員制度	
第10回目	映像資料『十二人の怒れる男』 レポート課題（2）発表	
第11回目	映像資料及びレポート課題（2）に関するディスカッション	
第12回目	日本社会の過去と現在（1）：「家」制度解体の諸相、家長と家族、戸籍、婚姻、離婚	
第13回目	日本社会の過去と現在（2）：前回の続き、老後の扶養、墓の管理、養子縁組、勘当	
第14回目	日本社会の過去と現在（3）：江戸時代の裁判（公事）、出入筋と吟味方、裁判と身分、恩恵としての裁判、公事師	
第15回目	日本社会の過去と現在（4）：江戸時代の犯罪と刑罰	
事前・事後学習	事前学習：指定された資料を読んでもくること。事後学習：必要なし。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	25%	出席状況と質疑応答への参加を総合的に判断する。
レポート	60%	映像資料（×2）について、（1）あらすじを適切に説明できているか、（2）法学的な含意を読み取れているか、を評価する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他	15%	
教科書と参考図書		
教科書は使用しない。参考書類は初回授業で説明する。		
履修上の留意点・ルール		
初回授業で説明する。		